



高校生が大活躍

高校生除雪ボランティア活動

1月31日、高校生除雪ボランティア活動が実施され、小国高校生や小国町社会福祉協議会、民生委員など13人が町内高齢者宅等の除雪を行いました。

ボランティアに参加した小国高校1年の原田亘さん（東京都出身）は「思っていた以上に大変な作業でしたが、地元では体験できないことなので、貴重な経験になりました」と除雪作業の感想を話してくれました。



町内産木材の家具を贈呈

3歳児のためのファーストファニチャー贈呈式

3歳児のためのファーストファニチャー贈呈式を2月1日、おぐに開発総合センターで開催しました。これは幼い頃から町内産木材と触れあうことにより地元への愛着を深め、木育を推進することを目的に実施しており、今年度の対象者17人のうち当日は11家族が出席しました。

贈呈した家具は、おもちゃやお菓子を入れて遊べる収納家具の「すぽっと」で、自分の名前が入った家具を町長から受け取った子どもたちが、さっそく遊ぶ姿もみられました。

たくさん釣れたよ

叶水小学校自然体験活動「わかさぎ釣り体験」

2月4日、横川ダムの白い森おぐに湖で、叶水小学校自然体験活動「わかさぎ釣り体験」が行われました。

1年生から6年生までの児童18人が参加し、小国町漁業協同組合のかたがたから、ワカサギの釣り方を教わりつつ、湖面に積もった雪にあけた穴に釣り糸を垂らしていました。この日、釣れたワカサギは子どもたちが各家庭に持ち帰り、美味しくいただいたとのこと。



雪の森のようちえん

冬の森で遊ぶ

2月11日、おぐにふるさと文化館「百石」を会場に「雪の森のようちえん」（白い森学習支援センター主催）が開催され、親子13人が参加しました。

参加者は雪のなかに隠されたお菓子を探す宝探しや、森の中でビンゴカードに書いてある自然のものを探すフィールドビンゴに挑戦しました。さらに、動物の足跡や変わった木の枝などを探しながら雪の上を元気に遊び回り、楽しく過ごしました。



小国高校生が模擬選挙を体験

選挙啓発出前講座を開催

選挙制度や選挙についての理解を深め、模擬投票を通じて、投票することの大切さを伝える選挙啓発出前講座が、2月7日に小国高校で行われ、2年生26人が参加しました。

講座では、選挙制度について説明を受けた後、実際の投票と同じ流れで模擬投票が行われ、体験した高校生からは「同じ名前の候補者が複数いて、名前だけ書かれた票があった場合どうなるのか」といった質問や「18歳になったら、地域の一員として選挙に参加したい」といった感想が聞かれました。



地域学講座

米坂線の移り変わりと保線の思い出

2月15日、教育委員会主催地域学講座「米坂線の移り変わりと保線の思い出」がおぐに開発総合センターで開催されました。

東日本鉄道OB会新潟地方本部小国支部長の井上正美さん（綱木箱口）に、米坂線の懐かしい風景や保線作業の思い出等をお話いただきました。参加者は、普段あまり聞くことのできない保線作業の苦労話を知るとともに、暮らしを支えてきた米坂線の役割について理解を深めました。

